学校番号	３２７

令和８年度　芸術科（普通科）

教科	芸術	科目	美術演習	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	なし						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・美術Ⅰの内容を基本とし、美術系大学の受験対策をします。進学先でもモノづくりに対する姿勢を持てるよう基礎基本をしっかり学びます。

・美術系大学進学希望者は「課題」ではなく「作品」を制作することを学びます。与えられた課題をこなすのではなく、どのような表現をしたいのか、どのようにすれば内面の表出が適切に行えるのかを学びます。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
美術の幅広い活動を通して、生涯にわたり美術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばし、美術文化についての理解を深める。
【思考力、判断力、表現力等】
制作活動を通じて準備、段取り、状況判断などの大切さを学び、それらの活動が普段の生活にも生かせるようにする。
【学びに向かう力、人間性等】
積極的に制作活動に取り組み、日常生活をより良いものにする。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	創造的な美術の表現をするために必要な技能を身に付け、意図に応じて、表現方法を工夫している。また美術作品などの表現の工夫や美術文化などを理解し、そのよさや美しさを創造的に味わっている。	感性や想像力を働かせて、感じ取ったことや考えたこと、目的や機能、美しさなどから主題を生成し、創造的な表現の構想を練っている。	美術の創造活動の喜びを味わい、多様な表現方法や美術文化に関心を持ち、主体的に表現や鑑賞の創造活動に取り組もうとする。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	色彩構成	【デザイン】 ・春夏秋冬をテーマにした色彩構成	:混色する方法や色の成り立ち・着彩方法を学習する。 b:混色の度合いを調整し、イメージ通りの表現ができるよう学習する。 c:作品制作に対して真摯に取り組む態度を養う。	適切に着彩で来ていること。	絵の具の特性を理解し、コントロールできること。	制作の様子
	レリーフ	【デザイン】 ・ペーパーレリーフ	a:作品制作に対して慎重かつ計画的に実行することができるか。 b:連続する模様の展開を理解できるか c:　作品制作に対して真摯に取り組む態度を養う。	丁寧な作品作りに徹していること。	多くの試行を繰り返し、作品作りにおいて新たな発見があること。	制作の様子
2学期	空間把握	【デザイン】 ・2点透視図法を利用しただまし絵	a:2 点透視図法を理解し、立体的な把握ができるようになるとともに、技法や道具を適切に使いこなせるように学習する。 b:だまし絵の効果を有効に演出するために、画面の構成が的確に行えるよう学習する。 c:　作品制作に対して真摯に取り組む態度を養う。	マスキングテープなど新たな道具を効果的に活用し、適切な着彩ができていること。	ポイントとなるだまし絵を効果的に表現できていること。	制作の様子

3学期	作品制作	【絵画】 ・明暗分割による貼り絵	a:効果的な分割の方法を学習し、作品に深みを持たせることを学習する。 b:効果的な色の選択を行い、最小限（2 色）の色数で立体感ある作品を制作できるよう学習する c: 作品制作に対して真摯に取り組む態度を養う。	貼り絵の作業が適切かつ効果的でありこと。また、分割の方法が適切であること・。	色の選択や明暗分割の方法が適切かつ効果的に行えているか	制作の様子

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度